

方小だより
令和7年度
校長室

笑顔いっぱい



方上まつりお世話になりました

9月27日(土)に開催されました方上まつりに向け、保護者の皆様に数か月前から計画やご準備を進めていただき、誠にありがとうございました。開催前には、「今週土曜日が、お祭りですね。」と確認してきた児童もいて、毎年恒例のお祭りを心待ちにしていることが伝わってきました。また、週が明けての月曜日の朝会で、お祭りに来ていたかどうか尋ねたところ、ほとんどの児童がにこにこしながら手をあげ、お祭りを楽しんだことが分かりました。

P T Aの各部で食べ物やゲームのお店の計画をし、準備を進めてくださいました。各部のお店は、次の通りです。

本部・・・花火 クイズラリー
校外・家庭教育部・・・からあげ フランクフルト おにぎり アイスクリーム ジュース
保体部・・・ポップコーン 射的 くじびき
文化・交通部・・・ストラックアウト スーパーボールすくい ボーリング

地域の方からは、暑さが和らぎ、涼しい中でのお祭りとなってよかったというお声を聞かせていただくことができました。食べ物のお店やゲームなどを楽しみ、思い出に残るお祭りとなったようで、子供たちもとても喜んでいました。学校がお休みの日の夜に友達に会えるだけで、子供たちはテンションが上がり、とてもうれしい気持ちになります。P T Aの大きな活動のひとつとして、方上まつりを伝統的に続けてくださっていることに心より感謝申し上げます。方上の子供たちのために、そして、地域の絆をつなぐために、大きな意味のあるお祭りになっています。ありがとうございました。



令和7年度全国学力・学習状況調査・徳島県学カステップアップテスト

4月に6年生は、全国学力・学習状況調査を、5年生は、徳島県学カステップアップテストを受けました。テストの結果が出て、徳島県の子供たちの学力の現状が新聞記事等にも取り上げられています。本校の5・6年生の結果を分析すると、次のようなことが見えてきました。

	5 年 生	6 年 生
国 語	正答率本校平均 57.0 県平均 57.9 「書くこと」「読むこと」は、県平均を上回っているが、「知識・技能」「話すこと・聞くこと」は、下回っている。漢字の書き取りや文章を読み取って内容を理解しているかの問いに誤答や無回答が多い。	正答率本校平均 61.0 県平均 66.0 全国 66.8 「我が国の言語文化に関する事項」以外は、平均を下回っている。文章中の言葉を漢字に直したり、内容や理由を読み取って選択したりする問題の回答率が低くなり、途中で時間がたりなくなっている。
算 数	正答率本校平均 50.1 県平均 51.3 「データの活用」は、県平均を上回っているが、「数と計算」「図形」「変化と関係」と県平均をかなり下回っている。文章題に合った立式を選ぶなど読み取りの力が弱く、無回答率も高くなっている。	正答率本校平均 57.0 県平均 59.0 全国 58.0 「測定」や「データの活用」は、回答率が全国や県より高い。示された資料から立式することや、分数の問題の回答率が低い。何倍かを問われる割合の問題も正答率がかなり低くなっている。
理 科	ステップアップテストでは、理科のテストは実施していません。	正答率本校平均 54.0 県平均 55.0 全国 57.1 理科は、3年ぶりのテストとなっている。電磁石や水や氷に関する問題は、正答率が高くなっている。しかし、電気に関する問題は、正答率が10%を下回っている。植物に関する問題も正答率が低い。
質問紙	「朝食を毎日食べていますか。」「自分にはよいところがあると思いますか。」「家の人と学校での出来事について話をしますか。」という問いには肯定的な回答が特に多い。「分からなかった点を見直し、次の学習につなげている。」「国語の授業の内容がよく分かる。」という問いに対し、肯定的な回答が県平均を下回っている。	「自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てを工夫して発表していますか。」「算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できていますか。」などの肯定的な回答が全国平均を上回っている。しかし、「国語の授業で目的に応じて文章を読み、文章と図表を結びつけるなど必要な情報を見つけていますか。」は、全国平均より低い。

以上のような結果から、国語の力をもっとつけていかなければならないと感じています。文章を読み取り、理解することができるよう、国語科の学習の充実を図っていきます。